

# 新型コロナウイルス感染症防止対応策

大会を開催するにあたりすべての大会関係者は下記内容を遵守してください。  
(JSBB 感染予防対策ガイドラインを元に作成しております)

大会を開催するにあたり、下記内容を遵守できない場合は、他者への安全を確保する等の観点から、大会への参加資格の取消及び途中退場を求める場合がございます。 7/28 改訂版

|    |   |
|----|---|
| 1  | 各自球場に入る際は必ずマスクを着用すること<br>(試合時以外で人との距離を確保できない場合は必ずマスクを着用すること)  |
| 2  | 試合前2週間における以下の状態の者は参加を認めない<br>・平熱を超える発熱(37度5分以上)<br>・咳(せき)、喉(のど)の痛みなどの風邪症状がある場合<br>・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)<br>・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者の有無<br>・身近な人に感染が疑われる人と接触した場合<br>・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 |
| 3  | 試合当日ベンチ入りする全員が自宅にて必ず検温を実施すること   |
| 4  | 試合当日37度5分以上の発熱がある場合、球場敷地内に立ち入らないこと  |
| 5  | チームは連盟HPより「健康チェックシート」をDLし、ベンチ入りメンバー全員の毎試合当日朝の検温結果及び健康状態を「健康チェックシート」に記載し、メンバー表受け取り時に本部に提出すること<br>また、来場者用「健康チェックシート」も同時に提出すること  |
| 6  | ベンチ内でもなるべくマスクを着用することを推奨する。ただし熱中症予防に配慮すること   |
| 7  | 次試合までの待機の際、人との距離を確保すること<br>距離を確保できない場合は、必ずマスクを着用すること  |
| 8  | 試合開始時及び終了時ホーム上での整列は行わず、ベンチ前に整列すること  |
| 9  | ベンチ内で大きな声での会話、声援等は極力控えること   |
| 10 | 全選手がベンチ内に留まらず、ベンチ外も利用し、選手同士の距離を確保すること<br>(通常ベンチ外は認められないが、特例として認めることとする)   |
| 11 | ベンチ内に設置の石鹸もしくはアルコールにて手指の消毒をこまめに行うこと   |
| 12 | 球場敷地内での唾や痰を吐く行為は絶対に行わないこと   |
| 13 | 試合中マウンドに集合する際は、グラブで口元を覆い会話すること  |
| 14 | 肌が触れ合うハイタッチ等を行わないこと   |
| 15 | タオルの共用をしないこと  |
| 16 | ジャグタンクでドリンクを飲む場合、コップは共用しないこと  |
| 17 | ドリンク等の飲み残しは容器ごと持ち帰ること   |
| 18 | 試合前後のミーティングでは必ずマスクを着用、もしくは選手同士の距離を確保し、短時間で行うこと  |
| 19 | 大会期間中に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合、必ず東京都軟式野球連盟に報告すること   |
| 20 | 大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合は、必ず東京都軟式野球連盟に報告すること   |
| 21 | 応援者、観戦者、帯同者が来場する場合は、健康チェックシートを提出すること  |
| 22 | 応援者、観戦者同士の距離を確保できる場合はマスクなしでの観戦を認めるが、距離を確保できない場合は必ずマスクを着用すること。また、大声での声援等は極力控えること。ただし、球場施設管理者が認めない場合は無観客とする   |
| 23 | 大会参加者に新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された場合、参加者名簿を関係機関に公表する<br>場合があることを了承すること   |
| 24 | 大会期間中緊急事態宣言等が発出された場合は大会を中断する  |
| 25 | 大会期間中新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合、大会開催を中止する場合がある  |